



フジタガンカニュース

Vol.174 2025.3.25

目が乾いたらドライアイなの？ ⑭

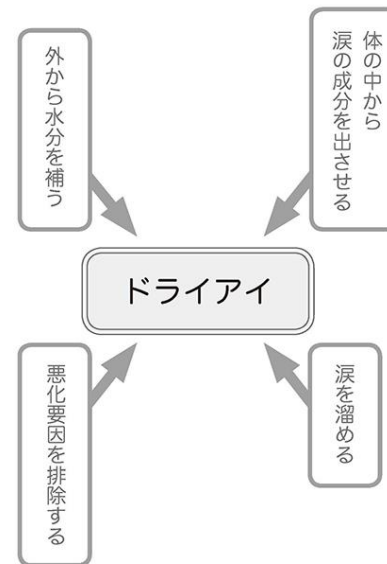
前回のドライアイ解説の引用についての説明の続きですが…(※前月号をご覧ください m(____)m)、ココ(←『ココ』とは前月号での引用文という事になります)には重要な事が書いてありまして…つまり「コンタクトレンズを使用してドライアイ症状が不調で困っているのであれば…そこは単純にコンタクトレンズを止めましょう(もしくはCL使用を減らしましょう)」という事が書いてあるんですね。まあ、確かにそれはその解決が一番医学的には正しいんですけど…まあ、そういう訳にも行かない事もありますよね？どうしてもメガネが嫌、職場の事情でメガネが許されない等など。そうやって来ると…「コンタクトレンズさえなければドライアイのコントロールが大丈夫！」な場合での…1つの解決策がLASIKに代表される近視矯正手術を受ける事なんですが、他には点眼でしょうか。有名なヒアルロン酸の点眼、少し前に説明したムチン分泌を促す点眼。他の点眼も組み合わせる事でドライアイの症状を緩和する事は可能かもしれません。また、最近はシリコンハイドロゲル素材といって乾きにくい素材で出来たソフトコンタクトレンズが主流になって来ています、若干価格は上がりますけれど…。同じシリコンハイドロゲル素材でも製品によっての個人的な相性などもあるので色々試してみる？というのも一つ。加えて涙点プラグという涙の出口を塞ぐ方法もあるのですが、涙点プラグにはシリコン製の固形のもの体温程度の熱に反応して固まる液体コラーゲン製のものがあります(商品名をキープティアと言います)。液体コラーゲンのプラグは1-2カ月で脱落して元通りになってしまいますが、固形のプラグに比べると違和感が少ない(固形のプラグでも強い違和感は生じませんが)です。コンタクトレンズが誘因のドライアイ患者さんにシリコンハイドロゲル素材のレンズを試してみて…更に点眼を試した後…それでも症状が強いならこの液体コラーゲンの涙点プラグは試してみるのには良い方法かなと思っています。個人的に開発段階から凄く気に入っていた製品で、思い入れというか？恋心というか…そういう気持ちも強い製品です…。開発から発売にあたり一時商品化が危ぶまれた時期もあり…販売契約寸前だった大手の薬品メーカーが「これはあまり売れないのではないか？」という判断をしてしまいまして…一度商品化が頓挫。その後元々の開発を担当していたメーカーさんが独自に商品化して販売に至ったんですね…。凄く大変だったんですよ…世に出るまでに…。ちなみにそんな会社は高研(こうけん)さんという会社なんですけどね…。

それでは前月号から引き続きドライアイ解説の引用です。

<https://www.gankaikai.or.jp/health/52/index.html>

@@

ドライアイ、4つのアプローチ



@@この図はともよく出来ていますね。ドライアイ治療の基本の考えはこれで良いと思いますが…誌面の都合で今月のフジタガンカニュースは以上です。続きは次号をお楽しみに！

今月のお知らせ

「エフ・ビジョン」からのお知らせです。本年4/1注文分からアルコン社のトータルワンシリーズ全商品が、納入価格改訂の為販売価格も変更となります。**数百円程度の値上げ**となりますのでご了承下さい。

藤田眼科は医療機関の為、今後も院内ではマスクの着用をお願いする予定です、ご理解の程お願い致します。



FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

F-Vision

☎042
(645)
0575
☎042
(642)
2911